

宮崎大学八月生活報告書

三年二組 周 力信

前言

今回は日本語を学ぶ外国人として、日本語でこの報告書を完成させたいと思います。間違ったところがたくさん出るかもしれませんが、どうぞご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

本文

季節が巡り。気づいたらもう辛い夏迫って来った。こんな夏の中に、シャツの背中が汗でびったり貼りついている。セミの声もうんざりするほど近い。同時に、だいぶ前から計画していた旅行もこの今年最高の月の中で過ごした。

この心をワクワクさせる旅は東京を始め、神奈川、箱根、名古屋、京都、大阪…九州まで三週間も続いているの大型旅行とも言えるぐらいの旅だった。旅行が始まる前の数週間、每晚友達とのラインのやり取り（どこに泊まると便利か・どこがいきたいかなどを色々話し合っていた）は僕達毎日の課題だった。

三週間の旅では多くの名所を訪れる機会があったけど、その中で印象的だったのが、別でもなく奈良の野生シカだった。基本的に野生といわれるけど、しかし市街地を闊歩し、人にも警戒せずによってきて、シカせんべい（当地で販売するクッキーみたいなシカの餌）を与えるとすぐに食べ切って、もう一つを求めて来るだよ。

正直に言うと、最初僕は結構ビビっていた。手にシカせんべい持つぐらいで鹿があんなにたくさん迫ってくるとは思わなかった。特に頭に長い角が生えている雄はマジで怖かった。でも、まあ大体慣れたら全然怖くないよ、さらに鹿はそんなに可愛いんだと感じる。

この旅行の中で鹿に負けていない好きなのは福岡中央区にあるの大濠公園という都市公園だ。なぜこの公園なのかと聞かれると、答えは公園の形だからだ。この公園の真ん中に大きな池がある（湖っぽい）その池の中に何と陸上と橋で繋がってる散歩道があり、松などの植物がたくさん茂り、島のような美し

いところだ。そこで虫たちの声と木漏れ日の中で一日はきつと
あとという間に暮れていくだろうね。

公園でもう一つ僕の心を奪い去るものがある、それは貸ボ
ール施設があることだ。一人で自転車のようにペダルをこいで水
面を進む「あめんぼボート」を乗って、歩くだけなら見えない
景色を水上で満喫！スッキリ！！

今回日本のあっちこっちにいたんけど、いっぱい食って、い
っぱい遊んで、結論として、この国の伝統である整理された町
並みと豊かな文化で、これからも人を魅力しつづし続けていく
んだろうね。今心から深くそう思う同時に日本に来て良かった
という気持ちも段々僕の心に溢れてきた。

2017/9/7